



ゴール16 平和と公正を すべての人に

世界の主な目標

- 平和ですべての人が参加できる社会をつくるとともに、すべての人が法律に基づいた裁判や手続きを利用できるようにします。
- あらゆる場所のすべての形の暴力を減らしていきます。

日本の状況

- 児童虐待については、児童相談所での児童虐待相談対応件数が過去最多の159,850件となっています注1。



名古屋市の取り組み例

チェック
だワン!

- 子どもを虐待から守るための取り組みや、いじめ・不登校対策、児童生徒に関わる相談・支援の充実を進めているよ。
- なごや人権啓発センターでは、子どもの権利をはじめいろいろな人権について多くの人が学べる機会を提供しているよ。

マンガで学ぶSDGs



注1:厚生労働省「平成30年度児童相談所での児童虐待相談対応件数(速報値)」より。名古屋市は3,394件(平成30年度)。

16 平和と公正を
すべての人に



どんな目標？

- すべての人が法律の下で公正で、
平和な社会に生きる

考えるためのキーワード

- 犯罪のないまちづくり



犯罪のないまちづくり

Q: 犯罪って増えているの？

A: 近年、犯罪の件数自体は減少傾向にありますが、特殊詐欺(オレオレ詐欺や還付金詐欺等)など高齢者を狙った被害が多発しています。また、スマートフォンの普及により若者が架空料金請求詐欺の被害に遭ったり、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)により性犯罪に巻き込まれるといった事例もあり、高齢者や若者などに対する啓発が重要になっています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 犯罪を未然に防ぐためには日頃の防犯対策が必要になります。自治体などでは特殊詐欺の事例集を作成するなど啓発活動を行っています。特殊詐欺は複数人で行われたり、手口も巧妙になってきています。また、SNSを使った被害として、旅行中にSNSに投稿したことにより留守を知られ、空き巣被害に遭ったと思われる事例も発生しており、こういった行為が犯罪被害につながるのか良く考えて行動することが大切です。



刑法犯罪認知
件数

愛知県約 **5万件**